

# 平成20年度 21世紀土地改良区創造運動 北海道大賞

## 受賞地区の概要

～新たな水土里ネットの創造～

- 道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織
- 道民・国民の要請に対応した農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織を目指して



平成20年9月29日

水土里ネット北海道  
北海道土地改良事業団体連合会

## 目 次

I.	2 1 創造運動北海道表彰について	.....	1
	1. 2 1 創造運動表彰の目的		
	2. 2 1 創造運動表彰の選考経過等		
II.	2 1 創造運動北海道大賞地区の概要		
	1. 水土里ネット 東 和 (東和土地改良区) (上川管内)	.....	3
	2. 水土里ネット 狩 場 利 別 (狩場利別土地改良区) (檜山管内)	.....	7
	3. 水土里ネット 網 走 川 (網走川土地改良区) (網走管内)	.....	13
	4. 水土里ネット オ ロ ロ ン (オロロン土地改良区) (留萌管内)	.....	18

## はじめに

平成13年度にはじまった21世紀土地改良区創造運動（以下「21創造運動」）は今年度で8年目に入り、全道的な広がりが見られるようになりました。

平成14年度には土地改良区の愛称「水土里ネット」が決定し、以降、この愛称の普及を含めた多様な運動が全国的に展開されております。

また、平成15年度には、全国水土里ネットにおいて、全国の模範となる優れた運動や示唆に富む運動を展開している水土里ネットを表彰する「21創造運動大賞」が創設されました。

このような中で、本会は、21創造運動を一層推進する支援体制の強化を図るため、「21創造運動表彰選考委員会」を設け、平成16年度から「21創造運動北海道大賞」を選考しております。

現在、道内80水土里ネットの21創造運動の取り組みは多岐にわたっており、それぞれの地域の特性に応じた様々な活動が展開されております。

本年度の表彰選考委員会における北海道大賞の選考過程では、これらの活動について、都市と農村との交流や地域住民等と連携した地域づくり、学校教育との連携、先駆的な農業・農村振興活動、多様な広報の推進、運動の多様性と積極的な地域振興への貢献（成果）等が積極的に行われており、その運動の取組体制、意味性、継続性・発展性、運動の成果が選考のポイントとなりました。

21創造運動は、水土里ネットの役割・機能を再認識するなど自己確認、自己変革に取り組む（内部運動）とともに、農業・農村の多面的機能や農地・農業用水等の資源保全の重要性と水土里ネットの果たす役割などについて広く理解の醸成を図る（外部運動）ものであります。今後とも水土里ネットが、道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、また、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織として発展するためには、これからも着実に継続して21創造運動に取り組んでいかなければなりません。

本会といたしましては、この表彰を通じ、関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげ、さらなる運動の推進と新たな展開が図られるよう支援して参りたいと考えております。

水土里ネット北海道

北海道土地改良事業団体連合会 会長理事

21創造運動推進委員会 委員長

眞 野 弘

# I 21 創造運動北海道表彰について

## 1. 21 創造運動表彰の目的

「水」「土」「里」は食料の安定供給や農業・農村の多面的機能の発揮の基盤となる社会共通資本。道民・国民の財産であるこの「水」「土」「里」を良好な状態で次世代へ継承するため、水土里ネットでは、農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織を目指して、21 創造運動を積極的に展開している。

このような中で、模範となる運動を展開している水土里ネットの表彰を通じ、活動に取り組む関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげることにより、水土里ネット関係者の運動への取り組み意欲の高揚と意識改革を図るとともに、運動のさらなる発展と新たな展開に資する。

## 2. 21 創造運動表彰の選考経過等

### (1) 選考対象

21 創造運動に積極的に取り組み、北海道の模範となる運動を行うか、又は、他の運動に対して示唆を与えうる運動を行っている水土里ネット。

### (2) 選考方法

本会「21 創造運動表彰選考委員会」が、道内80水土里ネットの取組状況を精査し、北海道大賞を選定する。

### (3) 「21 創造運動表彰選考委員会」委員の構成

委員長	梅田 安治	農村空間研究所長、北海道大学名誉教授
副委員長	浜田 哲	美瑛町長
委員	長澤 徹明	北海道大学大学院農学研究院教授
〃	森 久美子	作家、エッセイスト
〃	小田 たず子	消費生活コンサルタント
〃	野城 正功	農政ジャーナリスト
〃	大内 幸則	北海道開発局農業水産部調整官
〃	坂井 秀利	北海道農政部農村振興局長

### (4) 選考基準

水土里ネットが取り組む21 創造運動において、愛称の普及、都市と農村との交流、地域住民等と連携した地域づくり、総合学習など学校教育と連携した活動、先駆的な農業・農村振興活動、環境・景観保全活動、多様な広報の推進、運動の多様性と地域振興への貢献（成果）等が積極的に行われており、その運動の取組体制、意味性、継続性・発展性、運動の成果において優れた活動が行われていること。

#### 1) 運動の取組体制

- ①役職員、組合員が運動を推進する意志と姿勢を有し、運動に積極的に参加しているか。
- ②将来の21 創造運動を担う後継者を育てるための取組み・工夫を行っているか。

#### 2) 運動の意味性

- ①明確な基本理念を持って取り組んでいるか。
- ②歴史や先人等の想いが伝わる運動となっているか。
- ③運動が小規模でもきらりと光り、ユニークさや先駆性を持つ運動であるか。

#### 3) 運動の継続性・発展性

- ①単発的な活動に終わるのではなく、持続的な(無理のない)運動として展開されているか。
- ②運動内容が徐々に発展・拡大しているか(「一歩の踏み出し」)。
- ③運動が計画性(運動目標)を持って行なわれているか。
- ④多様なツールの活用による運動の成果が現れているか(当該水土里ネットの体力に応じた相当の結果が現れているか)。

#### 4) 運動の成果

- ①他の組織等との多様かつ有機的な連携のもとに、外部にも開かれた運動が展開されているか。
- ②水土里ネット、施設、多面的機能等の役割や重要性について、地域住民の理解が深まっているか。
- ③運動が施設の管理や地域資源の保全強化につながっているか。
- ④運動を通じて水土里ネットの地域づくりの関わりが大きくなっているか。
- ⑤地区内で農地・水・環境保全向上対策が行われている場合、状況に応じた貢献を行っているか。
- ⑥運動を通じて地域農業の振興(農業生産額の増加、農家経営の安定向上、担い手の確保等)に貢献しているか。

#### (5) 選考経過

##### 1) 第1回委員会

○期 日 平成20年6月10日

- 選考内容
- ・21 創造運動北海道表彰の実施方針について審議。
  - ・21 創造運動北海道表彰の選考基準等について審議。
  - ・道内全80水土里ネットの運動の活動内容について、①愛称普及②都市と農村の交流③関係団体・地域住民等との連携④学校教育との連携⑤先駆的な農業・農村振興活動⑥環境・景観保全活動⑦多様な広報⑧運動の多様性と地域振興への貢献(成果)等一の8項目に分類し、それぞれの項目に積極的に取り組んでいる20水土里ネット(過去に全国大賞を受賞した5水土里ネットを除く)を表彰候補として一次選考した。

##### 2) 第2回委員会

○期 日 平成20年7月8日

○選考内容 【北海道大賞の選考】

- ・第1回選考委員会の一次選考で選んだ20水土里ネットのうち過去に北海道大賞を受賞した11水土里ネットを除く9水土里ネットの活動について、選考基準である①運動の取組体制②運動の意味性③運動の継続性・発展性④運動の成果一について整理・検討し、特に優れた活動を展開している4水土里ネット(東和、狩場利別、網走川、オロロン)を北海道大賞に選定した。

【全国大賞推薦の選考】

- ・過去に北海道大賞を受賞した11水土里ネットと、今年度北海道大賞に選定した4水土里ネットの、計15水土里ネットの活動について、上記選考基準をもとに検討し、特に優れた活動を展開している水土里ネットてしおがわを全国大賞中央選考委員会(全国水土里ネット)へ推薦することとした。

## Ⅱ 21 創造運動北海道大賞地区の概要

### 1. 水土里ネット東和（東和土地改良区）

#### （1）水土里ネットの概要

- ①地区面積 9,320ha
- ②組合員数 1,470戸
- ③関係市町村 旭川市・東川町・東神楽町
- ④役員等数 総代59名、役員22名、職員22名

#### （2）21 創造運動の概要と受賞ポイント

都市と農村の交流では、旭川市や東川町・東神楽町などが主催する地域イベントに積極的に参加し、パネル展示やパンフレットの配布を行い、水土里ネット役割をPRするほか、農業施設の多面的機能、農地・農業用水の重要性等を紹介している。

地域住民との連携では、用水路沿いにハーブや花の苗の植栽を行い景観保全に努めている。また、ハーブはカメムシ防除の効果もあることから減農薬の取り組みにも寄与している。

学校教育との連携では、小学校の総合学習「たんぼの学校」に協力し、また小学校の社会見学に土地改良区施設に案内し、農業水利施設の役割や農地・農業用水等の資源保全の重要性などを紹介している。

用水路の多面的活用として、防火用水としての活用、また、親水公園として整備し地域住民の憩いの場となっている。

広報活動として、独自のPRパンフレットを作成し、町内に配布するなど、積極的な交流を通じて農業・農村の理解促進を図っている。また、ホームページで情報発信を行っている。

運動の成果として、ハーブ植栽後の維持管理が自主的に行われていることや、せせらぎ水路や用水路沿いの清掃やゴミ拾いが地域内小中学校の父兄の協力で行われていることが挙げられる。また、農地・水・環境保全向上対策に貢献している。

このように、地域が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織を目指し、組合員はもとより地域住民や学校、行政など多様かつ有機的な連携のもとで、外部にも開かれた継続的、持続的な運動が展開されている。

#### （3）21 創造運動の主な取組み

##### ①都市と農村の交流

##### ◇地域イベントへの参加

市町などが主催する地域のイベントに積極的に参加し、パネルで農業用水の多面的機能、農地・農業用水等の資源保全の重要性などを紹介するほか、パンフレットなどを配布し、水土里ネットの役割などをPRしている。平成19年度は、3回（7月29日、8月5日、8月26日）実施。



7月29日に開催された東川町どんとこい祭り



8月5日に開催された東神楽町花祭り



8月26日に開催された旭川市農業まつり

## ②関係機関・地域住民等との連携

### ◇用水路沿いの植栽

地域住民や組合員の参加を得て用水路沿いにハーブ及び花の苗を植栽し、景観保全に取り組むとともに、ハーブは水田害虫のカメムシ防除の効果もあることから減農薬の取り組みにも寄与している。



### ◇農業用水の多面的機能発揮に向けた取組（消防署との連携）

農業用水の防火用水機能増進を図るため、地区内の用排水路等の位置図を消防署に提供し、対処できる箇所の増加に向けて協議を進めている。



東神楽中央保育園での避難訓練にて、用水路から取水した水を使い放水体験。

## ③学校教育との連携

### ◇小学校の総合学習「田んぼの学校」に協力

農業体験を通じて、農地や農業用水の重要性と、これらを管理している水土里ネットの役割等を紹介しようと、旭川市立愛宕小学校、東川町立東川小学校、東神楽町立東聖小学校の総合学習「田んぼの学校」に全面協力。育苗施設の見学から田植え、生育観察、稲刈り体験を行い、お米ができるまでを紹介している。



#### (19年度の活動)

- ・旭川市立愛宕小学校5年生69名  
田植え体験(5/21)、稲の生育観察(7/19)、案山子づくり(9/4)、稲刈り体験(10月3日)
- ・東神楽町立東聖小学校5年生77名  
田植え体験(5/23)、稲刈り体験(9/19)、脱穀体験(10/18)、試食会(12月14日)
- ・東川町立東川小学校5年生55名  
もみまき体験(4/26)、田植え体験(6/1)、稲の育成観察(7/23)、案山子づくり(8/23)、稲刈り体験(9/27)

#### ◇農業水利施設見学会の実施

米づくりの総合学習を行っている3校の子どもたちに、田んぼの水はどこから流れてくるのかを知ってもらおうと、社会科見学でダムや用水路などに案内。施設や農業用水、水土里ネットの役割等を紹介している。



#### ⑤環境・景観保全活動

##### ◇農業用水を活用した親水公園の整備推進

国や道、関係市町と連携し、温水ため池、農業用水を活用した親水公園を整備し、市民の憩いの場となっている。



##### ◇地域活動への支援

農地・水・環境保全向上対策事業の活動組織に参画し、地域の自主的な取り組みの支援を行い、環境保全向上に勤めるとともに、地域での水土里ネットの役割の理解を図っている。



#### ⑥多様な広報等

##### ◇農業体験の絵画作品募集

「田んぼの学校」の生徒を対象に、稲作体験の絵画を募集し、応募作品を展示することにより、水土里ネットの地域活動を広く紹介する。



平成19年度は作品を募集し、102件の応募を得る。展示については、平成20年度地域イベント会場にて紹介する。



◇農業用水、水土里ネット等のPRパンフレットの作成・配布。



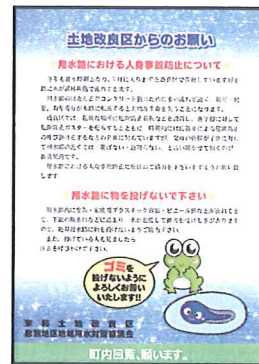
◇ホームページによる情報発信

農業・農村、農業用水の多面的機能や水土里ネットの役割等について、ホームページで情報発信している。



◇用水路の事故防止、ゴミ捨て防止の呼びかけ徹底

水土里ネット独自でチラシを作成し、地域の全保育園、幼稚園、小学校に配布するとともに、町内会に回覧板としてまわし、用水路の事故防止、ゴミ捨て防止の徹底を図っている。



⑦運動の成果等

◇ハーブ植栽後の維持管理

植栽したハーブ等の管理について、町内会や新に結成された活動組織が自主的に草取り等を行い、景観向上並びに環境保全に貢献している。



平成16年度に植栽したハーブの現状

◇地域清掃活動

農業施設の役割、多面的機能の重要性の理解を得て、地域内の小中学校や父兄の協力により、せせらぎ水路清掃や水路脇ゴミ拾い等の活動を行っている。



## 2. 水土里ネット狩場利別（狩場利別土地改良区）

### （1）水土里ネットの概要

- ②地区面積 4,663ha
- ③組合員数 740戸
- ④関係市町村 今金町、せたな町
- ①役職員等数 総代30名、役員12名、職員8名

### （2）21創造運動の概要と受賞ポイント

都市と農村の交流として、今金町やせたな町のイベント等に積極的に参加し、パネル展等で農業用水の多面的機能や農地・農業用水等の資源保全の重要性を紹介し、水土里ネットの役割等をPRし、身近で親しまれる土地改良区を目指している。

またNPO法人と一緒に町民や役場、JA等各団体に呼びかけ日本有数の清流「後志利別川」の河川清掃を継続的に行い水土里ネットの役割等PRに積極的に努めている。

地域住民との連携として、大和町内会住民で組織する「寺子屋やまと」と連携し意見交換会を実施、自分たちの町を見つめ直すため地域学習活動を行っている「寺子屋やまと」に土地改良区の役割や農業水利施設の役割や多面的機能、地域資源の重要性などを紹介し、意見交換会の後には農業施設の見学会を行っている。

その他に小学校のたんぼの学校への協力や施設見学会の実施、多面的機能の発揮に向けた取り組みとして、消防署と連携した防火用水や防火訓練への利用等に施設を活用している。

また、環境・景観保全活動として、土地改良区の事務所前の道々に花を飾り、地域住民が土地改良区を身近な存在と感じてくれるようになっている。

運動の成果として、子供たちの農業施設の大事さや重要性の理解度が進展したこと、地域住民や町民とも距離が縮まったこと、環境景観保全の考え方に対する共通認識が強まったことなどが挙げられる。

このように、地域の要請に対応した活動を行い、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織を目指し、組合員はもとより地域住民や学校、行政、NPOなど多様な有機的な連携のもとで、外部にも開かれた継続的、持続的な運動が展開されている。

### （3）21創造運動の主な取り組み

#### ① 都市（町）と農村の交流

##### ◇ 地域イベントへの参加

町内のイベント等に積極的に参加し、水土里ネットの役割等をPRし身近で親しまれる土地改良区を目指している。

今金町の夏最大のイベントである「ピリカ夏まつり」、せたな町の「浮島公園まつり」等各行事に積極的に参画し、土地改良区のはたしてきた役割、機能、そしてこれから果たしていく新たな役割、機能について積極的にPR。又農業用水や水利施設をパネル展示やパンフレットで紹介し施設のもっている多面的機能を地域住民に訴えるとともに、アンケート調査を行い、それらの結果を今後の活動の参考とし、積極的な運動の展開に努めている。



ピリカ夏まつり「浮島公園まつり」に参加。会場内にセットされた水土里ネットコーナ。農地・農業用水の大切さや農業用施設の多面的機能などPR。来場者には、地元の米をプレゼントし地産地消も呼びかけた。

パネル展見学→アンケート調査協力→米の配布というシナリオ

- ◇ NPO 法人清流保護の会が主催する、日本有数の清流「後志利別川」の河川清掃が、一般町民、官公署、各団体に呼びかけ実施。当土地改良区職員も積極的に参加し河川清掃の中、のぼり等を立て水土里ネットの役割をPRするとともに、次の世代にもこの清流を引き継ぎついでいくためにこの活動を続けていきたい。



後志利別川」河川清掃に参加



土地改良区でののぼりをたて、水土里ネットの役割をPR

## ② 関係機関・地域住民等との連携

- ◇ 地域住民との意見交換会を実施

自分たちの住んでいる町を見つめ直し再認識をしないと、大和町内会住民で地域学習活動している「寺小屋やまと」と連携し意見交換会を実施。土地改良区が施設を維持することによって地域社会に貢献していることを住民にPRするとともに、農業用水の果たす役割を啓発し地域住民の理解を得ながら住

民参加による管理活動を要請。意見交換会終了後農業施設の見学を行った。



土地改良区区域図を囲みながら「寺小屋やまと」会員との意見交換会。



終了後施設見学会

◇ 地域住民との草刈・花壇整備の実施

農業用水路が有している洪水防止や水の浄化作用などの多面的な機能を、地域住民に知ってもらうため今金第3老人クラブと連携し花壇整備・草刈を実施した。今後、このような活動を継続実施し、地域住民の理解を一層深めていく。



老人クラブによる花壇整備



花壇整備作業中

◇ 農業用水の多面的機能の発揮（消防署との連携）

農業用水の防火用水機能増進をはかるため、消防署と連携をとり、畑地かんに防火用水として活用し、農業用水の地域用水としての役割を発揮している。



畑地かんがいの給水栓から水を取り防火訓練を行う消防団員

③ 学校教育との連携

◇ 総合学習に協力し農業用水の役割等をPR

国営利別川地区かんがい排水事業の実施を契機に、函館開発建設部・今金町と連携し、地元小学校の総合学習に協力して、農業水利施設見学会を実施。児童との交流を通じ農業の大切さや役割を紹介。



今金小学校4年生40名の総合学習で、頭首工を見学。水土里ネット職員らが施設の役割などを説明

◇ 体験学習の実施

「排水路の生き物探検隊」～函館開発建設部・今金町と連携し、小学生を対象とした生態系保全活動と体験学習の実施。地元小学生に田や排水路での魚類及び蛙等身近な生物を捕獲体験してもらい農地・水・農業用施設の大切さを子供達に肌で感じとってもらった。



子供達による捕獲体験 多くの子供達が魚等を捕獲するたびに歓声を上げた。

④ 先駆的な農業・農村振興活動

◇ 大和町内会住民で地域学習活動している「寺小屋やまと」との意見交換会の実施。  
地域住民参加型による施設管理についてディスカッションする。 ※再掲

⑤ 環境・景観保全活動

◇ 環境美化と「花いっぱい運動」

道々沿線に突如出現!! 平成の花咲かオジサン～役職員による、改良区事務所前の道々に花を飾り、花と緑あふれる町づくりに貢献。(道々沿いに花を飾ったことで、住民が「身近な存在」として感じてくれるようになった。)



役職員による植栽風景

◇ 組合員と連携した環境・景観保全活動～組合員と連携し、幹線用水路沿いの草刈りやゴミ拾いなど、農村景観の保全、環境整備に取り組んでいる。

◇ 日本有数の清流「後志利別川」の河川清掃に参加  
～再掲



組合員による清掃活動

## ⑥ 多様な広報等

- ◇ 土地改良区だよりに随時掲載し、組合員共通認識のもと啓蒙普及に取り組んでいる。
- ◇ 農業用水、水土里ネット等のPRパンフの作成・配布。
- ◇ 副読本「みなさん私たちは狩場利別土地改良区です」を作成。農業用水や水土里ネットの役割等を掲載し、小学校の総合学習等で配布している。



## ⑦ 運動の成果等

### ◇ 総合教育（児童・生徒を対象）への参画～ 【施設見学会】

- この取り組みを行うことで自然の豊かさを感じながら通常の学校生活では、体験することのできないダムや頭首工等を実地に見学することができ、地域の小学校の年間行事になりつつある。また子供達が家に帰って親達と農業用施設の話しをすることから、「水の大切さ」や「自然の大切さ」など地域にとっての施設の存在を認めてもらう一つの足掛かりになってきたが最大の効果。
- 農業用施設の大切さを子供達にしてもらうとともに、先生も農業用水の多面的機能の認識や、改良区の業務の重要性を感じて頂くことができた。  
子供たちの家族を含めその地域で生活している多くの一般の人達たちに再認識する機会を与えた効果は大きい。

- ◇ 総合教育（児童・生徒を対象）への参画～【体験学習の実施】
  - 田や排水路に生育する魚や水生昆虫を捕獲することにより、自然環境の再発見と生態系保全の大切さや、水路の重要性又環境に配慮した圃場整備の必要性を認識してもらえた。改良区と児童の交流が始まり、改良区を理解してもらうきっかけとなった効果は大きい。
  
- ◇ 施設見学会の実施 ～ 【町内会・敬老会】
  - 冒頭区域図を参加者に配布し、農業用水や水土里ネットを PR、水管理の苦勞や施設の多面的機能の役割を理解したとの声多数。最後に地域住民に維持管理に対する協力を要請する。「清掃活動や水路の植栽等」私達でできるものがあれば、協力したいとの声が多数聞こえた。そのこと自体見学会の成果あり。
  
- ◇ 各種イベントへの参加 ～
  - 来場者との交流を通じ「農業と改良区の果たしている役割」を広く訴えた。パネル展やアンケート調査等の実施。調査結果は、これまでの当区の取り組みの浸透度合を把握するとともに今後の活動の指針として活用している。又地元米をプレゼントし消費拡大・地産地消を呼びかけた。改良区と町民の距離が縮まる効果あり。
  
- ◇ 関係機関・地域住民との連携 ～
  - 大和町内会住民で地域学習活動している「寺小屋やまと」との意見交換会の実施。  
地域住民参加型による施設管理についてデスクッションする。基本的にはボランティアを想定しているが、施設周辺の清掃等に対する協力という形に限定される。草刈りとなると、機械による安全対策等の問題もあり、住民に対しては施設管理の立場からではなく、農村景観や環境保持の面での参加・協力をお願いした。地域の人々と共に進めるための話し合いしたことが成果。
  
  - 消防署と連携し、畑地かんがい用水を防火用水として活用し、農業用水の地域用水としての役割を発揮。（消防団員の防火訓練の実施）有効利用による、防火体制の強化が図られ地域社会に寄与。
  
- ◇ 環境・景観保全活動 ～
  - 事務所前の道々に、役職員による花の植栽。花と緑あふれる町づくりに貢献するとともに、役職員との「21世紀創造運動」に対する共通認識が強まった。  
又道路を花で飾ったことで地域住民の目にとまり、花を見に訪れるようになり非農家との会話の場となり、住民が身近な存在となった効果は大である。
  
  - 河川清掃の参加～参加することにより、職員間の環境・景観保全活動に対し益々共通認識が強まった。

### 3. 水土里ネット網走川（網走川土地改良区）

#### (1) 水土里ネットの概要

- ①地区面積 2,422ha
- ②組合員数 250戸
- ③関係市町村 大空町女満別・美幌町
- ④役職員等数 総代35名、役員9名、職員6名

#### (2) 21 創造運動の概要と受賞ポイント

女満別観光まつりやみどりの村ふれあいまつりなど町が主催するイベント等に積極的に参画し、パネルで農業用水の役割や多面的機能、農地・農業用水等の資源保全の重要性を紹介するほか、パンフレット、ティッシュ等配布し地域農業や水土里ネットの役割を積極的にPRに努めている。

地域住民との連携では、日本最東端の「田んぼの学校」の開催や施設見学会の実施により農業水利施設や農業用水、水土里ネットの役割等への理解が深まっている。

また、ホテルの生態系配慮への取り組みや生き物観察・自然体験会に実施により草刈り・環境保全活動が活発化し、多様な団体との連携が可能となった

多面的機能の発揮に向けた消防署との連携が進んでおり、防火用水施設も景観に配慮したデザインとしている。

景観保全活動として、国や道、美幌町と連携し農業用水を活用した親水公園を整備し、多くの住民の憩いの場となっている。また地方新聞に水土里ネットの活動取り組みを積極的に紹介し、広く活動をPRしたことによって水土里ネットの役割など理解度がアップしている。

運動の成果として、水土里ネットの役割や施設の多面的機能、資源保全の重要性に対する理解が進んだことが挙げられる。また、農地・水・環境保全向上対策に貢献している。

このように、地域が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織を目指し、組合員はもとより地域住民や学校、行政、JAなど多様かつ有機的な連携のもとで、外部にも開かれた継続的、持続的な運動が展開されている。

#### (3) 21 創造運動の主な取り組み

##### ①都市と農村の交流

##### ◇地域イベントへの参加

町などが主催する地域のイベントに積極的に参加し、パネルで農業用水の多面的機能、農地・農業用水等の資源保全の重要性などを紹介するほか、パンフレット、ティッシュ、ドン菓子などを配布し、水土里ネットの役割などをPRしている。



平成19年7月7日に行われた「中央商店街ふれあいまつり」で、水土里ネットがブースを設置。アンケート調査も実施し、水土里ネットの認知度や農業体験の関心度などを調査した。(パネル展示、魚類展示、ドン菓子配布)



平成19年7月29日に行われた「女満別観光祭り」で、水土里ネットがブースを設置。アンケート調査も実施し、水土里ネットの認知度や農業体験の関心度などを調査した。(パネル展示、魚類展示、ドン菓子配布)





平成19年9月10日に行われた「豊住地区収穫感謝祭」に参加し、水土里ネットの啓蒙普及活動を実施した。本イベントは、本区の組合員の家族、豊住小学校に通う非農家の家族が対象で、地域にある農業施設の多面的機能、農業の大切さをアピールした。



平成19年9月16日に行われた「みどりの村ふれあいまつり」に協賛し、水土里ネットがブースを設置。アンケート調査も実施し、水土里ネットの認知度や農業施設の多面的機能についての関心度などを調査した。(魚類展示、ドン菓子配布)

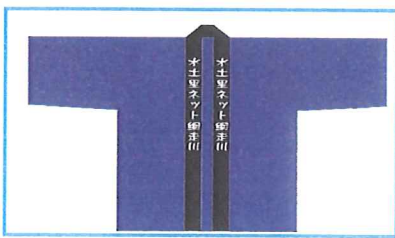
○啓蒙活動用

○半天

○タオル

○エコバック

○ティッシュ



## ②関係団体・地域住民等との連携

◇「田んぼの学校」開校（田植え5月27日、観察会7月7日、稲刈り9月27日、贈呈式11月15日）

農業体験を通じて、農地や農業用水等の重要性と、それらを管理している水土里ネットの役割等について理解を求めようと、美幌町と連携して、親子での参加公募による「日本最東端の田んぼの学校」を開校している。（平成14年から毎年実施）。



◇施設見学会の開催（8月10日）

本区の区域は、美幌町・大空町に跨っているため両町の子供達に、田んぼの水はどこから流れて来るのかを説明するため頭首工、用水路、排水機場等の農業水利施設の役割、多面的機能について理解を得るため施設見学会を実施している。（平成18年から毎年実施）

○東幹線頭首工見学



○西幹線用水路魚類調査



○美幌温水ため池カヌー体験



#### ◇ホタルの生態系配慮への取り組み

水土里ネットが管理する用水路に自然のホタルが生息している。この水路は転作により通常通水を行っていなかったが平成16年度より、ホタルの生態系保全の観点から転作田に支障がない程度に通水している。この区間は、地域住民等で構成する「ふるさと美幌の自然と語る会」と水土里ネットが連携し、ホタルの幼虫・成虫の生息調査を行いながら草刈り・清掃等を行っている。

○ほたるの調査



○ホタルの幼虫



○ホタル(写真:H18年度)



#### ◇生き物観察、自然体験会の実施（9月27日）

網走支庁東部耕地出張所、大空町と連携し、町内の豊住小学校35名で「排水路ドジョウの引っ越し大作戦」を実施し農業排水路に生息する生き物の観察とあわせ、ドジョウの引越しを計画し、学習の一環として自然観察及び環境保全について、支庁、水土里ネットの職員と一緒に実体験を通して学習をした。



#### ◇子供絵画展の開催

子供絵画展を平成18年度より農業への関心を高める事を目的に開催している。

○「しゃきっとプラザ」展示



○理事長による表彰



◇農業用水の多面的機能発揮に向けた取組（消防署との連携）

農業用水の防火用水機能増進を図るため、地区内の用排水路や防火用水施設の位置図を消防署に提供し、防火用水機能を発揮させるための水位調整を行っている。

○東幹線用水路(防火用水施設)



○用水路を利用した防火用水機能



※美幌町内に5ヶ所の防火用水施設を設置し、農村部についても用排水路を利用し初期消火に貢献している。

### ③学校教育との連携

◇小学校の総合学習「たんぼの学校」に協力（田植え5月30日、稲刈り9月28日、脱穀11月7日）

美幌町立美幌小学校5年生（75名）の田植え体験、稲刈り体験、脱穀体験に協力し、農業体験を通じて、農地や農業用水等の重要性と、これらの地域資源を管理している水土里ネットの役割等を紹介している。



◇高校と連携した「温水ため池」の生態系調査の実施（9月27日）

水土里ネットと美幌町博物館が協力して、美幌高校2年生が課外授業の一環で、水土里ネットが管理する「美幌温水ため池」の水環境とそこに生息する生物生態系について平成17年度より毎年調査を行っている。

水土里ネットでは、農業用水等に関する情報を提供し、生徒が水と生態系との関わりなどを調査。水土里ネットと美幌町博物館では、これらの調査結果をもとに、生態系に配慮した維持管理方策などの検討を進めている。



### ④先駆的な農業・農村振興活動

◇ホテルの生態系配慮への取り組み ※再掲

◇高校と連携した「温水ため池」の生態系調査の実施 ※再掲

## ⑤環境・景観保全活動

### ◇農業用水を活用した親水公園の整備推進

国や道、町等と連携し、農業用水を活用した親水公園を整備し、多くの町民の憩いの場となっている。

#### ○用水路上部(親水施設)



#### ○親水公園夜間ライトアップ



#### ○サイフォン(ツツジの植樹)



## ⑥多様な広報等

### ◇農業用水、水土里ネット等のPRパンフの作成・配布

### ◇町の広報誌とホームページに、水土里ネットの活動を掲載

### ◇新聞社等への情報提供

水土里ネットの創造運動の取り組みなどについて、新聞社等に積極的に情報を提供し、広く活動をPRしている。

## ⑦運動の成果等

- ・町内会やその他の団体と有機的な連携が構築されている。
- ・水土里ネット・施設・多面的機能の役割や重要性が理解されている。
- ・運動を通じて地域農業に貢献している。
- ・農地・水・環境保全向上対策に貢献している。



## 4. 水土里ネットオロロン（オロロン土地改良区）

### （1）水土里ネットの概要

- ①地区面積 2,313ha
- ②組合員数 238戸
- ③関係市町村 羽幌町、初山別村
- ④役員等数 総代30名、役員10名、職員6名

### （2）21創造運動の概要と受賞ポイント

はぼろ味まつりなど地域イベント等に積極的に参画し、パネル展等で農業用水の多面的機能や農地・農業用水等の資源保全の重要性などを紹介するほか、パンフレットを配布し地域農業や水土里ネットの役割等のPRに努めている。

地域住民との連携では、寿町内会の用水路ゴミ拾いの実施や花壇の設置、事故防止等施設管理に協力している。

農業・農村の多面的機能、農地・農業用水の維持保全の重要性などの理解促進を図るため学校教育と連携しており、羽幌小学校4年生の社会科見学に協力し、羽幌二股ダムにおいてダムの役割や農業施設の重要性と水土里ネットの役割への理解に努めている。

また、「自然空間はぼろ」の会に水土里ネットオロロンも参画し、植樹や水車づくり、池作りなどのピオトープ作りに積極的に参加している。

また、農地・水・環境保全向上対策に貢献している。

このように、水土里ネットの役割や農業水利施設の多面的機能や資源保全の重要性について地域住民等の理解が向上するなかで、組合員はもとより地域住民、学校、行政など多様かつ有機的な連携のもと、外部にも開かれた継続的、持続的な運動が展開されている。

### （3）21創造運動の主な取り組み

#### ①都市と農村の交流

##### ◇地域イベントへの参加

町等が主催する地域のイベント（はぼろ味まつりH19.8.19）に積極的に参加し、パネルで農業用水の多面的機能、農地・農業用水等の資源保全の重要性などを紹介するほか、パンフレットなどを配布し、水土里ネットの役割などをPRしている。また、会場に訪れた家族やペット等と写真を撮りオリジナルカレンダーを作成配布し好評を得ている。



はぼろ味まつり(8月19日)で水土里ネットブースを設置しパネル展等を実施、家族やペットと一緒に写った写真をベースにオリジナルカレンダーを作成配布し、喜ばれている。

#### ②関係機関・地域住民等との連携

##### ◇用水路沿い等のゴミ拾いや花壇の設置また、事故防止等施設管理に協力

毎年実施している寿町内会の用水路ゴミ拾いに参加し、地域の環境美化活動について意見交換を行っている。

この際に、集合写真をオリジナルカレンダーとして全戸に配布し、好評を得ている。



6月3日に行われた用水路周辺のごみ拾いに寿町内会及び水土里ネット30名の参加を得て、環境美化活動を行っている。  
また、幼稚園で事故防止を呼びかけている。

#### ◇農業用水の多面的機能発揮に向けた取組（消防署との連携）

農業用水の防火用水機能増進を図るため、地区内の用排水路等の位置図を消防署に提供し、消火活動に対処している。



防火用水・用水からの消火活動

#### ③学校教育との連携

##### ◇小学校の社会科見学に協力

羽幌二股ダムで毎年実施している、羽幌小学校4年生を対象とした施設見学会において、ダムの役割など土地改良施設や水土里ネットの役割についてパンフレット等を使用してPRしている。



平成19年6月16日羽幌二股ダムにおいて、羽幌小学校4年生72名を対象にダムの役割や農業施設、水土里ネットの役割などをパンフレット等を使い説明。

◇羽幌小学校の総合学習への協力

羽幌小学校5年生の総合学習に全面的に支援。田植えから収穫までの体験学習に全面的に協力し、たんぼの水土里ネットがどこから来るのか農業用水の役割や水土里ネットの役割について、パンフレットで紹介している。



- ◇ みなさん、「水土里ネット」の名前や活動をご存知ですか。
- ◇ ダム、頭首工、用排水路を管理し、田んぼなどの農地を守っているのが、地域の農家で組織するわたしたち「水土里ネット」です。
- ◇ 農業用施設は農業だけでなく、集落や地域の生活に対する新しい役割が期待され、重要性が年々高まっています。
- ◇ いま、わたしたち「水土里ネット」はみなさんのお声をお聞きし、また、ご協力を得ながら、農業用水路や農地などの地域資源を守り、皆さんに身近で親しまれる「21世紀にふさわしい新たな土地改良区」の創造を目指しています。
- ◇ オロロン土地改良区では水土里ネットを知ってもらうためオリジナルカレンダーを無料で作製いたします。ご希望の方は申込用紙に記入して下さい。

田植え体験5月25日、稲刈り体験9月25日、羽幌小学校5年生75名田植え、稲刈りの他、たんぼの水土里ネットがどこから来るのか農業用水の役割や水土里ネットの役割についてパンフレットで紹介。

④先駆的な農業振興活動

◇「自然空間はぼる」の会に水土里ネットオロロンも加盟し、植樹、水車づくり、池作りなどのピオトープ作りに積極的に参加している。



平成19年5月19日にピオトープで植樹。6月から9月にかけてピオトープにおいて水車や池の作成に参加。右は水車

⑤環境・景観保全活動

- ◇用水路沿い等の植栽 ※再掲
- ◇ピオトープの植樹 ※再掲

⑥多様な広報等

- ◇農業用水、水土里ネット等のPRパンフの作成・配布
  - 水土里ネットって知っていますか ※再掲
  - 羽幌二股ダムの概要

羽幌二股ダムの概要オリジナルパンフレット。

## 羽幌二股ダム



## ⑦運動の成果等

- ・町内会やその他の団体と有機的な連携が構築されている。 ※再掲
- ・水土里ネット・施設・多面的機能の役割や重要性が理解されている。
- ・農地・水・環境保全向上対策に貢献している。



羽幌二股ダム（上羽幌）



羽幌ダム（羽幌鉦）



羽幌頭首工（スキー場の近く）



用水路

「たんぼの水はどこから来るの」  
オリジナルパンフレットの一部。